

あれこれ通信

TeL / Fax 0493-62-7997
http://space.tom-shibuya.com
e-mail 713@tom-shibuya.com

渋谷とみ子の議会報告No.76

嵐山町議会・総務経済委員会は、岩沢勝町長に はじめて「まちづくり」について政策提言しました。

2011年10月の議会議員選挙後、総務経済委員会（河井勝久委員長・青柳・川口・小林・渋谷・森・吉場議員）では、2年間「まちづくり」をテーマに調査しました。議員の多くはテーマが大きすぎると主張しました。「まちづくり」についての行政の課題と皆さんが感じている課題を検討しました。

町民のみなさんとは区長会の3つのグループ・子育て支援のボランティアの方と子育ての若いママ、菅谷小5年生、志賀小5年生、七郷小5年生、成人式実行委員会の中高校生・20代の人、公募での意見交換と9回行いました。2013年9月、嵐山町議会では、はじめて総合的な政策提言をしました。町民の皆さんの期待に応えるように、議会は少しずつですが、政策提案でき、開かれた議会に向かっていきます。

皆さんの声を115項目に集約して、23にわたる政策を提言し、議会文教厚生委員会にかかる8つの政策は参考として付記しました。

若い人の居場所と立ち位置が嵐山町にありません。こども・若い人の感性がまちづくりに求められていないのです。

小学5年生が遊ぶ場所がないことを話してくれました。議会は今、おせっかいといわれても、出向いて行き、いろいろな世代の人や声を出しにくい人がどのように町の生活を感じ取っているかを知ろうとすべき時代に入っています。

七郷小学5年生との意見交換・・・ボール遊びができる公園がほしい・お祭りが好き・大人は親切ですという意見が出ました。

総務経済委員会からの主な政策提言

- 1、区のあり方・区長制度のあり方を見直す
- 2、町行事への区参加に若者がリーダーシップを取りやすい方向に変革する
- 3、行政は地域に出向きタウンミーティングをする
- 4、女性が就労しやすいシステムをつくる
- 5、自然と共生するまちとして生物マップをつくり、町内外の子どもが自然と交流できるように、里地里山保全・ため池保全を進める
- 6、北部・中部・南部で総合的に遊具管理・運動公園・広場を含めた公園計画をつくる
- 7、子ども・若者と適宜、意見交換の場を設ける
- 8、若者の居場所作りとして、週に1度でも時間延長し、アイブラザやふれあい交流センターを自由に使える場として提供する
- 9、駅周辺の買物を考え、ニーズ調査を行う
- 10、交通弱者対策として町内全域の住民のニーズ調査を行い、地域公共交通確保の具体的な検討を行う

